

photo01

住宅設計をしている中で、当然インテリアもデザインしますが、どうしても特注家具なのでコスト的に最終段階で断念せざるを得ないというクライアントをたくさん目の当たりにしてきました。設計者としてその空間に合った造付け家具もデザインして、家具と一体となったお部屋で生活してもらいたいと思うのですが、なかなかそれが実現しないということが多々あります。そんな中でIKEAの家具は建築家としてもデザイン、コスト、クオリティの面から“自分の設計した空間にも使える”と考えていました。

常々住宅空間とはシンプルで飽きのこないデザイン、インテリアも自然と空間に溶け込むものが良いのでは、という考えでこれまで設計してきました。2006年頃からとうとう我が家を設計する機会が訪れ、まずはクライアントに提案する前にIKEAの家具を“自分で使ってみなければ”との思いで設計に取り組みました。

我が家について簡単に紹介すると、1階はTRUSTPLAN inc.という私の設計事務所、2・3階が自宅の木造の3階建てです。(敷地が22坪しかないのでもと小さな家ですが...)自宅のある2・3階はトイレ・洗面・浴室(これで一つの部屋です。)に入る扉があるだけで、あとは収納以外扉がないのでLDK+吹抜け、主寝室、子供部屋もふくめて一つの部屋になっています。まだ子供が小さいので(7歳と3歳)これで十分です。(photo01,02)

“家づくり”について、子供たちにも何かのかたちで参加させたいと前々から考えていました。IKEAの家具の組み立てはまさに家づくりに参加という意味でもうってつけで、建物の工事を手伝うのは6歳の息子(当時)には無理でも家具の組み立てはできます。子供も自ら自分の机を組み立てたり、クローゼットを造ったりということでもそれだけでも愛着がわくし、大切にもしてくれるでしょう。工事の後半はほとんど毎週のように現場に出かけ、子供たちと一緒に家具を造り、そこで弁当を食べたりといった感じでした。(photo03)



photo02

設計はプロでも組み立ては素人なので、さまざまな苦労もありました。工事中の現場なので家具の搬入という面でも、いろんな行き違いなどもあったりしました。

家具の組み立てについて、IKEAでは工具類もリーズナブルな値段で販売しているのでこれを買えば大丈夫です。欲を言うと電動ドリルなんかもあると便利です。

私の場合は息子にもやらせたので小さな電動ドリルも購入しました。これだけあれば何でも造れます。組立て家具の造り方を示す説明書が付いていますが、すべて図解でわかりやすく書かれているので、漢字の読めない息子でも理解することが出来ました。(photo04)

我が家に入れているIKEAの家具は、キッチンをはじめ、クローゼット、洗面収納、玄関収納、飾り棚 etc. で、通常とは違った使い方をしているものもあります。(photo05,06)

次回以降、TRUSTPLANとIKEAのコラボレーション(私が勝手に思っているだけですが...)を紹介していきますので期待してください。



photo03



photo04



photo05

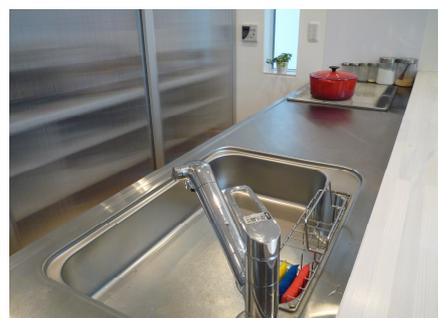


photo06